

史的なものの方や考え方が養われ、なによりも歴史学習のおもしろさや地域に対する新たな認識をもうてることができると思われる。

4 地域素材を活用した授業の展開例

(1) 文化財を教材として

① 指導計画

学習課題	ね ら い	学習内容
5. どのようにして大和朝廷を中心とした国に統一されたのだろう	<ul style="list-style-type: none"> 大和朝廷による国土の統一や大陸文化の伝来について古墳とその副葬品などからとらえることができる。 古墳の築造と分布、副葬品などの資料を関連づけて、統一の過程と大陸文化の影響を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会津大塚山古墳と中田装飾横穴墓 大和朝廷の国土統一 大陸文化

② 地域素材の教材としての内容及び標準的な教材との関連

地域の素材	標準的な教材	地域の素材
会津大塚山古墳	古墳にほうむられた人々	中田装飾横穴墓
前方後円墳	いろいろな古墳	横 穴
鏡の出土	豪族の墓	金銅製品の出土
岡山丸山古墳と同じ鏡	多くの副葬品	北九州に多い装飾
	大陸文化の伝来	
4世紀末の築造	大和朝廷の統一	6世紀末の築造

③ 指導過程

段階	教師と児童の活動	指導上の留意点
つかむ 1時間	<ul style="list-style-type: none"> 大きな古墳をつくるようになったこの時代はどんな世の中なのか話し合う。 古墳の外観を見て、形、大きさなどについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真、絵などを活用して、実感として古墳を把握させる。 被葬者の身分や当時の社会のようすをつかませる。
調べる 1時間	<ul style="list-style-type: none"> 県内の古墳について調べる。 会津大塚山古墳について調べる。 中田装飾横穴墓について調べる。 	『福島県の文化財』を活用する。 所在地、墳形、大きさ、副葬品などについて調べさせる。
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 4世紀末になぜ会津に大きな古墳がつくられたのか考える。 同じ鏡が岡山県古墳から出土している意味について話し合う。 中田装飾横穴墓の優 	<ul style="list-style-type: none"> 同範鏡の分布から大和朝廷の国内統一について考えさせる。 神話、伝承についてもふれるが扱いに注意する。

2 時間	れた出土品について話し合う。	二つの古墳の副葬品が大陸文化の影響を強く受けている点に着目させる。
	<ul style="list-style-type: none"> 大塚山古墳や中田装飾横穴墓の出土品について話し合う。 大陸から伝来した文化が、大和朝廷と国内文化に及ぼした影響について考える。 	

(2) 展開上の留意事項

地域に所在する文化財は、地域史を構成する大切な要素である。これら文化財を学習することは、その地域の歴史的特性を知るうえできわめて重要である。しかし、その扱いについては、前述したように教材化の手続きを経ることは勿論だいじなことであるが、児童の興味や関心を重視し、その文化財を通じて内容が具体的に理解できるようなものを精選する必要がある。このことは、歴史上の人物を取り上げる際も同じである。

また、実地見学や実際に触れるような指導や種々の視聴覚教材や資料を立体的に活用し、理解を助け深めるような指導を考慮したい。

更に、学習を通じて、文化財の価値や先人の業績を認識させ、関連する文化財や遺跡の愛護精神を高め、積極的に保護する態度を養うことも重要である。

5 おわりに

地域は、児童が生活を営む場であるから、地域の文化財などについても見慣れたものが数多いことと思われる。これらについて、一定の手続きを経て、教材としての生命をもたせ活用を図りたい。

多忙である。地域をよく知らないなどの理由で、地域の素材を取り上げる機会をつくらないことが多い。しかし、地域の素材は、児童にとって身近であるだけに、児童が自ら疑問をもって調べたりするきっかけも多いし、学校での学習を自ら発展させていくのにも好都合である。また、児童の個性、能力、特に創造力を伸ばす素地をつくるという点でも絶好の教材となり得るのである。

地域の素材は、各教科、領域に活用できる。そのためには、学校において、教育課程の編成・実施に当たり、その学校を取り巻く地域環境を見直し、素材の発掘をして、それを教育課程に位置づけておくことが必要である。

参考・引用文献

- 文部省 1982『小学校教育課程一般指導資料』Ⅱ